

日本訪問看護認定看護師協議会設立趣意書

2005年に訪問看護認定看護師教育課程が開講し、現在教育機関は4ヶ所となった。在宅の第一線で訪問看護師として活躍する人、管理者や統括管理者として活躍する人、高い理念のもとに自ら起業し、実践のモデル的存在として活躍する人など、2009年8月現在、全国で131名の訪問看護認定看護師が活躍している。

少子高齢化と多死時代、在院日数の短縮、疾病の多様化などにより、医療と介護を必要とする在宅療養者（児）は増えており、訪問看護師への社会的ニーズは高まっている。ことに今後の在宅では、医療と介護の協働、多職種連携のもとで在宅療養者（児）が最期まで住み慣れた地域で生活できるよう支援していくことが求められている。

しかし、訪問看護ステーションの事業所数や看護師数は伸び悩んでいる状態が長期化している。そのような状況の中、私たち訪問看護認定看護師には、人材育成や訪問看護の質の向上を図るとともに、医療機関や施設との連携を強化し、在宅医療・ケアの質そのものを高めていくというリーダーシップが求められている。また、訪問看護認定看護師の専門性や存在理由もそこにあると考える。

そのためには、全国の訪問看護認定看護師が「実践」「指導」「相談」の経験・知識を持ち寄り、相互の交流を図ることによって、より一層、在宅医療・看護・ケアの質の向上と専門性を高めていくことが必要であると考え、「日本訪問看護認定看護師協議会」を設立した。

2009年8月吉日

日本訪問看護認定看護師協議会